

audfly L1 スピーカー設置・設定に関してご注意頂く点

- 1) リスナーに対して、音が正面や頭上から当たるようにスピーカーを設置してください。真横から耳に向け、1m 以内の距離で音を発生させると、人によっては高調波を感じる場合があります。
- 2) リスナーの顔に直接音が当たるように、スピーカーの向きを注意深く設定してください。非常に指向性が強いので、音の方向が少しずれるだけでも、聞こえ方に大きな差が生じます。スピーカー角度を自在に調整できる取付金具をご使用になることをお勧めします。
- 3) 反射音の拡散によって超指向性スピーカーの特徴が損なわれる場合があります。反射音が顕著な場合は、スピーカーからの音が直接当たる場所（指向性が強いので場所の特定が容易です）に吸音材を置く、音量を下げる、反射音が暗騒音より低くなるように設定する等の対応をとって頂きますようお願いいたします。音量を決定する際は、リスナーの頭に直接音が当たっている状態で音量の調整を行って下さい。反射音を聞きながら音量の設定をされることが無いようにご注意下さい。
- 4) スピーカーとリスナーの間に障害物（ビニールや紙なども含め）があると、リスナーまで音が届かなくなります。スピーカーからの音の通り道には物がない状態にして下さい。
- 5) 大音量を出すスピーカーではありませんので、騒音状態の激しい場所に設置される場合には、事前調査を行って下さい。
- 6) 音量・音質の調整を行う必要がある場合は、音源プレイヤーの音量コントロールもしくは、プリアンプ、ミキサーアンプをご使用頂きますようお願いいたします。
- 7) 音量を一定以上上げると出力が自動的にカットされます。その場合、音量を下げて下さい。
- 8) 24 時間以上連続して通電した状態にしないようにして下さい。24 時間のうち、一定時間（2 時間以上程度）は、通電状態が off の状態になるようにして下さい。